

NO.2454

竜ヶ岳

日時：3月14日(土) 雨のち曇り

参加：岡本(L)、右田、佐々木(記)

天候が思わしく無い為、日曜日から前日の土曜日に日程調整して出発した山行でしたが、朝から雨が……。温泉か山か？、運を天に任せる思いで新大阪を岡本車で四日市に向けて出発。私は初めての山、できれば登ってみたいものだ。

宇賀溪(キャンプ場)の大きな駐車場では、小降りになってきた天候について、雨具を着け登山届を出して覚悟のスタート、7~8名が入山との事。川遊びや滝めぐりを楽しめるキャンプ場には、ヒュッテやバンガロー施設がある地域だ。

いくつかのコースがあるが、今日は遠足尾根を辿る。きれいな川沿いに北河内林道を歩き、遠足尾根入口道標から急登に取り付く。この山域は、駐車場でもらったパンフレットに記された位置確認Noが各所に表示されていて道案内している。

雨が上がり展望台(634m)からは、雲の切れ間から下界が少しずつ見えて来る。

さらに急坂をこなすと遠足尾根(730m)に出てホット一息。まだまだ先は長いが、きつい日差しの先に雪が見えてくる。



(遠足尾根出会)

積雪の痩せ尾根や笹原をツボ足で進む。碎石の為に段々が目に付く藤原岳を右に見て進むと、



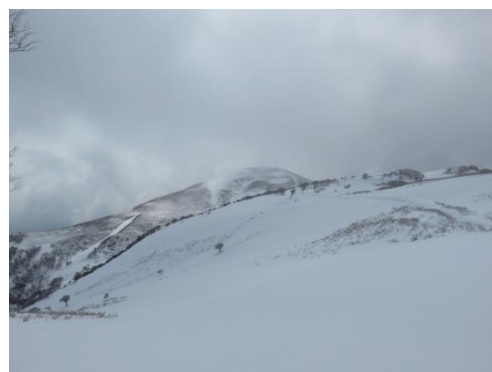
(遠足尾根のツボ足コース)



(遠足尾根から藤原岳方面)

沢道を辿る裏道分岐(現在は一部崩れで通行禁止)と金山尾根分岐および治田峠分岐(1030m)(静ガ岳・藤原岳縦走路)の道標が続く。ガスが出るとホワイトアウトになりそうな目標物が何も無い所だ。

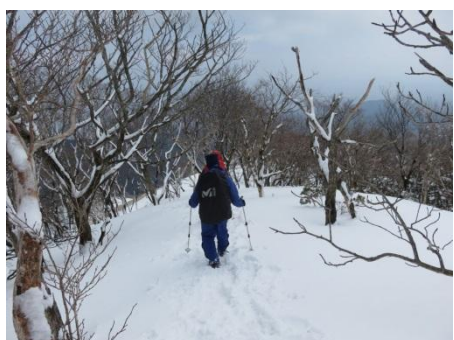
少し風が出てくるが、眺め良好。目指す竜ヶ岳が踏み跡を引きずる様にして、目の前にそびえている。岡本さんは、盛んにカメラのシャッターを切る。



(向こうに見えるのが竜ヶ岳)

頂上への最後の登りは一直線、我々だけの竜ヶ岳山頂（1099.6m）は360度の眺めを望むことができる。滋賀県と三重県境の竜ヶ岳を我々は三重県側から登ってきたが、三重の街並みが眼下に大きく広がっている。記念写真後、風を少しでも避けて遅い昼食。

帰路は安全をみてピストンの予定であったが、踏み跡もしっかりしており、途中の雪解けの悪路を避ける為、金山尾根を下る事にする。



(気分良く下山する両名)



一部、滑りやすい箇所もあったが、順調に下って谷路への分岐から魚止橋（青色）を渡り沢筋から林道終点へ着。

北河内林道を駐車場に向かう途中に、裏道分岐・遠足尾根道分岐を過ぎ、名水滝の雫で一休みし無事駐車場着。

帰阪は、東名阪四日市から新名神、名神と順調に乗り継ぎ、新大阪で解散。岡本リーダー、立案から運転まで本当にありがとうございました。

<参考タイム>

新大阪 7:00→10:00 宇賀溪駐車場 10:20→11:20 展望台
→11:40 遠足尾根→12:55 金山尾根分岐→13:25 竜ヶ岳
13:40→14:00 金山尾根分岐→15:15 林道終点→15:40
宇賀溪駐車場 15:55→18:00 新大阪 <行動5:20>